



学校だより

12月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 今野 裕子

令和5年11月30日

〒232-0061 横浜市南区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

世界人権デーに合わせて

校長 今野 裕子

12月10日は世界人権デーです。20世紀は世界中を巻き込んだ2回の大きな戦争があり、たくさんのかけがえのない命が失われ、あちらこちらで迫害や人権侵害などが起こりました。その経験から国際連合は、その総会において“あらゆる人と国とが達成すべき共通の基準”として世界人権宣言を採択し、その日を世界人権デーと定めました。今から75年前のことです。世界人権宣言には、人は生まれながらにして自由で平等であり、すべての人に差別なく権利があるのだと書かれています。つまり、どこの誰であってもかけがえのない存在であることは変わりがなく、人としての尊厳と平等で譲ることのできない権利をお互いに認め合いながら、人類に授けられた理性と良心をもって助け合っていくことこそが、自由・正義・平和の礎なのだと言われているのです。

藤の木小学校では毎年この時期に人権週間を設定しています。今年は12月1日(金)～12月8日(金)が校内人権週間となっており、学年や学級、委員会等による様々な取組を進めているところです。

先日の朝会での校長講話では、人権を大切にしていくということは「自分を守っていくのと同じように、自分の周りにはいる相手も守っていく」のだと話をしたあと、絵本『ことばのかたち』（作：おーなり由子、出版：講談社）の一部を読み聞かせしました。自分の口からこぼれ出る言葉は、いったいどんな色や形をしていて、相手にどのように届くのかに意識を向け、言葉を受け取る相手を思い、考えて言葉を使っていくきっかけにしてほしかったのです。全校児童は食い入るように聞いており、朝会后にその絵本を学校図書館に置いたところ、わらわら子どもたちが読みに来ていました。

また、児童会の中核を担う組織の一つ、藤の木センター委員の子どもたちは、今年の学校スローガン「えがおの花をさかせよう～あいさつ・協力・ふわふわ言葉～」を達成するために、3つの活動①朝のあいさつ運動、②朝会やテレビ放送を活用した委員からのメッセージ、③あいさつがんばりカードの取組を始めています。毎朝、正門と西門に立ち、登校してくる全校児童に声をかけ続けていくことは、勇気も根気も必要です。挨拶をふやして笑顔あふれる学校にしていくために、全校の先頭に立って呼びかける子どもたちのひたむきな姿は、とても頼もしいです。藤の木センター委員だけでなく、各学年・学級の取組も進んでいます。藤の木小学校の子どもたちには、その取組全てを通して、一人ひとりがみな大切な存在であり誰一人として傷つけられてよい人はいないということを、日常生活のあらゆるところで感じ、考え、行動に移して行ってほしいです。これから先、子どもたちの笑顔がもっともって増えていくことを願っています。

早いもので12月を迎えます。中旬の16日(土)には藤の木フェスタを実施します。これまでの学習の成果、心身ともに成長している子どもたちの様子、学級で仲間とともに協働して取り組む姿を、是非多くの方々にご覧いただきたいと思っています。フェスタが終わると、あっという間に冬季休業・年末年始を迎えることになります。ご家庭におかれましても一年で一番慌ただしい季節となりますので、感染症などに気をつけてお過ごしください。一足早いですが、どうぞよい年末年始を迎えられますように。